

令和5年ゴールデンウィーク期間中の 主要観光地観光客数について

■県内全体の概況（※詳細は別紙のとおり）

今年のゴールデンウィーク期間（4/29（土）～5/7（日）の9日間、5月に5連休）は、行動制限のない大型連休となり、統計をとった主要観光施設 26 施設の 1 日平均入込客数は 48,616 人（前年比 105.8%（10 日間・3 連休×2 回）、2019 年比 57.9%（10 日間・10 連休）、2018 年比 69.7%（9 日間・3 連休+4 連休））となり、前年比を上回った施設は 26 施設中 14 施設であった。

なお、全体の入込客数は合計 437,540 人（前年比 95.2%、2019 年比 52.1%、2018 年比 69.7%）となった。

■エリア別の概況

○東予地方

入込客数の 1 日平均は 13,571 人（前年比 106.9%、2019 年比 57.8%、2018 年比 68.8%）となり、マイントピア別子、あかがねミュージアム、タオール美術館、マリンオアシスはかた、今治城は前年比を上回り、マイントピア別子は県内一の伸び率（33.8%増）となった。

○中予地方

入込客数の 1 日平均は 19,792 人（前年比 109.6%、2019 年比 51.8%、2018 年比 65.3%）となり、松山市の施設は全て前年比を上回り、中でも松山城ロープウェイが中予地方で最も高い伸び率（25.9%増）となった。

○南予地方

入込客数の 1 日平均は 15,253 人（前年比 100.3%、2019 年比 68.4%、2018 年比 77.5%）となり、中でも大洲まちの駅あさもやが、南予地方の前年比で最も高い伸び率（20.8%増）となった。